

2018年7月実施  
第9回  
農業簿記検定<sup>®</sup>  
2級問題

注意事項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
  - ・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
  - ・電卓（基準に適合したものに限る。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**2時間（120分）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題25問まで掲載**しており、**1頁から25頁まで印刷**しています。試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
  - ※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

※“農業簿記検定<sup>®</sup>”は、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会の登録商標です

**問題 1** 以下の文章のうち、誤っている文章が一つある。その文章の選択肢を一つ選びなさい。

**【選択肢】**

1. 農業簿記とは農企業（農業）に適用される簿記をいい、生産工程をとまなうため、工業簿記に準じた仕組みになっている。
2. 農企業では、製品の原価を計算することが重要な課題となり、この計算手続きを原価計算という。
3. 農業簿記は、原価計算の手続きなしで記録に必要な資料を得ることはできない。また、原価計算は、農業簿記から基礎資料を受け取ることにより、その目的を達成することができる。
4. 原価は、製造原価を意味する場合と、製造原価に非原価項目を加えた総原価を意味する場合がある。
5. 製造原価は、製品（仕掛品・育成仮勘定）との関連により、製造直接費と製造間接費に分類される。

**問題 2** 以下の1～5は農業簿記において製造原価、販売費、一般管理費となる具体例を記述したものである。このうち、一つだけ誤っている組み合わせがある。その番号を答えなさい。

**【選択肢】**

|   | 製造原価      | 販売費         | 一般管理費      |
|---|-----------|-------------|------------|
| 1 | トラクターの修繕費 | 営業員の接待交際費   | 総務職員の厚生費   |
| 2 | 乳用牛の飼料費   | 直売所冷蔵庫の修理代  | 本社建物の水道代   |
| 3 | 花きハウスの暖房代 | 通販サイトの年会費   | 役員の法定福利費   |
| 4 | 水田の土壌改良費  | 直売所のパート給料   | 本社備品のリース料  |
| 5 | 果樹の肥料代    | 直販農産物の梱包発送費 | 収穫機械の固定資産税 |



**問題 4**

以下の【仕訳】と【勘定】の資料から、空欄（①）～（④）に入る金額として正しいものの組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

【仕訳】（単位：円）

4/ 1 賃金手当の前月末未払額は（①）円であった。

（借）（未払費用）（①） （貸）（賃金手当）（①）

4/15 賃金手当の当月支給総額は、4,177,500円であり、預り金 317,500円を差し引いた金額を現金で支払った。

（借）（賃金手当）（ ） （貸）（預り金） 317,500  
（現金）（②）

4/30 作業員の実際作業時間は、直接作業時間 4,000 時間、間接作業時間 500 時間、手待時間 125 時間であった。なお、予定消費賃率は 900 円／時間であった。

（借）（仕掛品） 3,600,000 （貸）（賃金手当） 4,162,500  
（製造間接費） 562,500

4/30 賃金手当の当月末未払額は 515,000 円であった。また、賃金手当勘定における貸借差額を賃率差異勘定へ振り替えた。

（借）（賃金手当） 515,000 （貸）（未払費用） 515,000  
（賃率差異）（③） （賃金手当）（③）

【勘定】（単位：円）

|      |             | 賃金手当 |              |
|------|-------------|------|--------------|
| 4/15 | 預り金 317,500 | 4/ 1 | 未払費用 475,000 |
| "    | 現金 (②)      | 4/30 | 仕掛品 (④)      |
| 4/30 | 未払費用 ( )    | "    | 製造間接費 ( )    |
|      |             | "    | 賃率差異 (③)     |
|      | ( )         |      | ( )          |

**【選択肢】**

|   | ①       | ②         | ③       | ④         |
|---|---------|-----------|---------|-----------|
| 1 | 475,000 | 3,860,000 | 55,000  | 3,600,000 |
| 2 | 475,000 | 4,177,500 | 55,000  | 3,600,000 |
| 3 | 475,000 | 4,177,500 | 372,500 | 3,600,000 |
| 4 | 515,000 | 3,860,000 | 0       | 4,162,500 |
| 5 | 475,000 | 3,860,000 | 55,000  | 4,162,500 |

**問題 5** 以下の資料に基づき、各経費の当月消費額の合計額として正しい選択肢を一つ選びなさい。

| 費目    | 内訳               |                 |                  |
|-------|------------------|-----------------|------------------|
| 作業委託費 | 前月末未払額 114,000 円 | 当月支払額 360,000 円 | 当月末未払額 159,000 円 |
| リース料  | 前月末前払額 75,000 円  | 当月支払額 222,000 円 | 当月末前払額 69,000 円  |
| 減価償却費 | 年間見積額 900,000 円  |                 |                  |
| 水道光熱費 | 当月支払額 45,300 円   | 当月測定額44,700 円   |                  |

**【選択肢】**

1. 701,700 円    2. 702,300 円    3. 740,700 円    4. 752,700 円    5. 753,300 円

**問題 6** 大原農園では、実際個別原価計算を行っている。以下の指示書別原価計算表と仕掛品勘定および製品勘定を作成し、空欄 ( ① ) ~ ( ⑤ ) に入る金額として正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。

1. 各生産指示書に関するデータ

|        | レタス              | ダイコン               | ハクサイ            |
|--------|------------------|--------------------|-----------------|
| 直接材料費  | 885,000 円        | 573,000 円          | 348,000 円       |
| 直接労務費  | ? 円              | ? 円                | ? 円             |
| 製造間接費  | ? 円              | ? 円                | ? 円             |
| 直接作業時間 | 133 時間           | 119 時間             | 93 時間           |
| 備考     | 前期着手、<br>当期収穫・引渡 | 当期着手・収穫、<br>当期末未引渡 | 当期着手、<br>当期末未収穫 |

2. 直接労務費については予定賃率を用いており、予定賃率は 1,200 円/時間であった。  
 3. 製造間接費は、直接作業時間当たり 2,900 円で各指示書に予定配賦を行っている。  
 4. 期首仕掛品のレタスは 540,000 円であった。  
 5. 期首製品のキャベツは 980,000 円であり、当期に引渡し済みである。

6. 指示書別原価計算表 (単位: 円)

|         | レタス   | ダイコン  | ハクサイ | 合計  |
|---------|-------|-------|------|-----|
| 期首仕掛品原価 | ( )   | —     | —    | ( ) |
| 直接材料費   | ( )   | ( )   | ( )  | ( ) |
| 直接労務費   | ( ① ) | ( )   | ( )  | ( ) |
| 製造間接費   | ( )   | ( ② ) | ( )  | ( ) |
| 合計      | ( )   | ( )   | ( )  | ( ) |
| 備考      | ( )   | ( )   | ( )  |     |

【勘定】(単位：円)

仕掛品

|       |     |      |       |
|-------|-----|------|-------|
| 前期繰越  | ( ) | 製 品  | ( )   |
| 材 料   | ( ) | 次期繰越 | ( ③ ) |
| 貸金手当  | ( ) |      |       |
| 製造間接費 | ( ) |      |       |
|       | ( ) |      | ( )   |

製 品

|       |     |      |       |
|-------|-----|------|-------|
| 前期繰越  | ( ) | 売上原価 | ( ④ ) |
| 仕 掛 品 | ( ) | 次期繰越 | ( ⑤ ) |
|       | ( ) |      | ( )   |

【選択肢】

|   | ①       | ②         | ③       | ④         | ⑤         |
|---|---------|-----------|---------|-----------|-----------|
| 1 | 159,600 | 345,100   | 540,000 | 2,950,300 | 980,000   |
| 2 | 159,600 | 385,700   | 729,300 | 3,031,200 | 1,060,900 |
| 3 | 159,600 | 345,100   | 729,300 | 2,950,300 | 1,060,900 |
| 4 | 159,600 | 345,100   | 729,300 | 3,031,200 | 1,060,900 |
| 5 | 414,000 | 1,000,500 | 540,000 | 4,011,200 | 980,000   |

**問題 7**

以下の【仕訳】の資料から、空欄（①）～（③）に入る勘定科目として正しいものの組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

【仕訳】（単位：円）

- (1) 当期より搾乳牛の育成を開始し、当期における搾乳牛の育成に要した飼料費は5,440,000円であった。

（借）（①） 5,440,000 （貸）（買掛金） 5,440,000

- (2) 決算につき、搾乳牛の育成費用について計算を行ったところ、総額8,160,000円であった。

（借）（？） （ ） （貸）（②） （ ）

- (3) 従来から育成を行っていた搾乳牛が初産の分娩をし、搾乳を開始した。

（育成仮勘定残高：8,160,000円、当期の育成費用：7,340,000円）

（借）（生物） （ ） （貸）（？） 8,160,000  
（③） 7,340,000

- (4) 決算につき、減価償却費 3,875,000円を計上した。

（借）（減価償却費） 3,875,000 （貸）（？） 3,875,000

**【選択肢】**

|   | ①     | ②      | ③      |
|---|-------|--------|--------|
| 1 | 育成仮勘定 | 育成仮勘定  | 育成仮勘定  |
| 2 | 飼料費   | 育成費振替高 | 育成仮勘定  |
| 3 | 育成仮勘定 | 育成費振替高 | 育成費振替高 |
| 4 | 飼料費   | 育成仮勘定  | 育成仮勘定  |
| 5 | 飼料費   | 育成費振替高 | 育成費振替高 |

**問題 8**

当農場ではブロッコリーを10a作付けしており、2,500株のブロッコリーが収穫される予定である。生産指示書（標準原価カード）および実際の発生コストは以下のとおりであった。ブロッコリー1株当たりの標準原価と直接材料費の価格差異および数量差異を算定し、その正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。なお、原価差異の算定にあたり、不利差異の場合には「不利」、有利差異の場合には「有利」と記載している。

## 1. 生産指示書（標準原価カード）2,500株

|       |          |   |      |   |                 |
|-------|----------|---|------|---|-----------------|
| 肥料費   | 1,050円/袋 | × | 18袋  | = | 18,900円         |
| 直接労務費 | 950円/h   | × | 100h | = | 95,000円         |
| 製造間接費 | 800円/h   | × | 100h | = | 80,000円         |
| 合計    |          |   |      |   | <u>193,900円</u> |

## 2. 肥料費（直接材料費）の実績に関する資料

$$1,000 \text{ 円/袋} \times 19 \text{ 袋} = 19,000 \text{ 円}$$

**【選択肢】**

|   | ブロッコリー1株当たりの標準原価 | 価格差異     | 数量差異       |
|---|------------------|----------|------------|
| 1 | 77.56円/株         | 950円（有利） | 1,050円（不利） |
| 2 | 77.60円/株         | 950円（有利） | 1,050円（不利） |
| 3 | 77.56円/株         | 950円（有利） | 1,000円（不利） |
| 4 | 77.60円/株         | 950円（不利） | 1,050円（有利） |
| 5 | 77.56円/株         | 950円（不利） | 1,050円（有利） |



**問題 9**

畜産農業を営む当社の資料に基づき、全部原価計算方式および直接原価計算方式によった場合の損益計算書の空欄（①）～（⑤）に入る金額として正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。なお、期末仕掛品原価の計算方法は先入先出法による。

1. 生産・販売データ

|       |              |       |              |
|-------|--------------|-------|--------------|
| 期首仕掛品 | 160 頭        | 期首製品  | 0 頭          |
| 当期投入  | <u>360 頭</u> | 当期完成品 | <u>340 頭</u> |
| 合計    | 520 頭        | 合計    | 340 頭        |
| 期末仕掛品 | <u>180 頭</u> | 期末製品  | <u>0 頭</u>   |
| 当期完成品 | <u>340 頭</u> | 当期販売品 | <u>340 頭</u> |

完成品の家畜の飼育日数は150日であった。期首仕掛品となった家畜は90日の飼育日数が経過しており、期末仕掛品となった家畜は100日の飼育日数が経過している。また、期末仕掛品となった家畜の素畜費は、3,240,000円であった。

2. 製造原価データ

|       | <u>期首仕掛品原価</u> | <u>当期製造費用</u> |
|-------|----------------|---------------|
| 素畜費   | 3,040,000 円    | 6,480,000 円   |
| 変動加工費 | 720,000 円      | 2,784,600 円   |
| 固定加工費 | 633,600 円      | 2,375,100 円   |

3. 販売費及び一般管理費

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 販売費   | 2,450,000 円 (すべて固定費である) |
| 一般管理費 | 1,775,000 円 (すべて固定費である) |

4. 1頭当たりの販売価格は48,000円であった。

(単位：円)

全部原価計算方式の損益計算書

|                |       |       |
|----------------|-------|-------|
| I 売上高          |       | ( ① ) |
| II 売上原価        |       |       |
| 1. 期首製品棚卸高     | ( )   |       |
| 2. 当期製品製造原価    | ( ② ) |       |
| 合計             | ( )   |       |
| 3. 期末製品棚卸高     | ( )   | ( )   |
| 売上総利益          |       | ( )   |
| III 販売費及び一般管理費 |       |       |
| 1. 販売費         | ( )   |       |
| 2. 一般管理費       | ( )   | ( )   |
| 営業利益           |       | ( )   |

直接原価計算方式の損益計算書

|     |                    |       |       |
|-----|--------------------|-------|-------|
| I   | 変 動 益              |       | ( )   |
| II  | 変 動 売 上 原 価        |       |       |
|     | 1. 期 首 製 品 棚 卸 高   | ( )   |       |
|     | 2. 当 期 製 品 製 造 原 価 | ( )   |       |
|     | 合 計                | ( )   |       |
|     | 3. 期 末 製 品 棚 卸 高   | ( )   | ( )   |
|     | 限 界 利 益            | ( )   | ( ③ ) |
| III | 固 定 費              |       |       |
|     | 1. 固 定 費           | ( ④ ) |       |
|     | 2. 販 売 費           | ( )   |       |
|     | 3. 一 般 管 理 費       | ( )   | ( )   |
|     | 営 業 利 益            | ( )   | ( ⑤ ) |

**【選択肢】**

|   | ①          | ②          | ③         | ④         | ⑤         |
|---|------------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1 | 16,320,000 | 8,866,600  | 5,227,700 | 2,225,700 | 853,300   |
| 2 | 16,320,000 | 11,092,300 | 7,453,400 | 2,375,100 | 853,300   |
| 3 | 17,280,000 | 8,866,600  | 5,227,700 | 2,225,700 | 1,002,700 |
| 4 | 16,320,000 | 11,092,300 | 5,227,700 | 2,375,100 | 853,300   |
| 5 | 16,320,000 | 11,092,300 | 7,453,400 | 2,375,100 | 1,002,700 |

**問題 10** 伝票会計に関する次のA～Eの記述には、誤っているものが二つある。その誤っている記号の組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

- A. 入金伝票は、現金の収入があったときに記入するものであり、仕訳上の借方科目は現金が前提となっている。
- B. 出金伝票に記載された取引を勘定口座に転記するとき、現金勘定の借方へ転記し、科目欄に記入された勘定の貸方へ転記する。
- C. 伝票は、簿記上の取引が発生した場合に記入する単なるメモであり、仕訳帳にも必ず別途記帳しなければならない。
- D. 売掛金を現金で回収した場合に記入する伝票は、入金伝票である。
- E. 振替伝票は、現金の入金取引及び出金取引以外の取引があった場合に記入するもので、振替伝票の勘定科目に現金が記入されることはない。

【選択肢】

1. A, B      2. A, D      3. B, C      4. B, E      5. C, E

**問題 11** 次の一連の取引の仕訳について、空欄①～④に入れるべき最も適切な勘定科目または金額を下記の【勘定科目・金額】から選び、その正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

- (1) 2月1日に農業倉庫の建設を依頼し、契約代金10,000,000円の一部3,000,000円を手付金として、普通預金から振り込みして支払った。

(借) ( ① ) 3,000,000 (貸) 普通預金 3,000,000

- (2) 7月1日に上記農業倉庫が完成し、引き渡しを受け、同日に使用を開始した。なお、残金は同日に普通預金から振り込みして支払った。

(借) ( ② ) 10,000,000 (貸) ( ① ) 3,000,000  
普通預金 7,000,000

- (3) 12月31日、決算につき上記農業倉庫を定額法（耐用年数17年、償却率0.059）により減価償却を行った。（間接法）

(借) 減価償却費 ( ③ ) (貸) ( ④ ) ( ③ )

【勘定科目・金額】

ア 倉庫    イ 建物    ウ 倉庫仮勘定    エ 建設仮勘定    オ 減価償却累計額  
カ 265,500    キ 295,000    ク 531,000    ケ 590,000

【選択肢】

1. ① エ      ② イ      ③ カ      ④ オ
2. ① ウ      ② ア      ③ キ      ④ ア
3. ① エ      ② イ      ③ ケ      ④ イ
4. ① ウ      ② ア      ③ ク      ④ オ
5. ① エ      ② イ      ③ キ      ④ オ

**問題 12** 次の資料をもとに機械装置を買換えした場合の仕訳として、正しい記述の番号を一つ選びなさい。

売却した機械装置

下取り価格 80,000 円 期首帳簿価額 284,000 円

取得価額 2,000,000 円 当期首から売却時までの減価償却費 143,000 円

取得した機械装置

取得価額 2,500,000 円 ※代金の支払いは、新たに借入して普通預金に入金した金額から支払った。

【選択肢】

- |    |   |   |  |
|----|---|---|--|
| 1. | (借) 減価償却費                      143,000          | (貸) 機械装置                              2,000,000     |  |
|    | 減価償却累計額      1,777,000                          | 借入金                                      2,340,000  |  |
|    | 機械装置                                  2,420,000 |   |  |
|    |   |   |  |
| 2. | (借) 減価償却累計額      1,716,000                      | (貸) 機械装置                              2,000,000     |  |
|    | 固定資産売却損              204,000                    | 普通預金                                      2,420,000 |  |
|    | 機械装置                                  2,500,000 |   |  |
|    |   |   |  |
| 3. | (借) 減価償却費                      143,000          | (貸) 機械装置                              2,000,000     |  |
|    | 減価償却累計額      1,716,000                          | 普通預金                                      2,420,000 |  |
|    | 固定資産売却損              61,000                     |   |  |
|    | 機械装置                                  2,500,000 |   |  |
|    |   |   |  |
| 4. | (借) 減価償却費                      204,000          | (貸) 機械装置                              2,000,000     |  |
|    | 減価償却累計額      1,716,000                          | 普通預金                                      2,420,000 |  |
|    | 機械装置                                  2,500,000 |   |  |
|    |   |   |  |
| 5. | (借) 減価償却費                      143,000          | (貸) 機械装置                              2,000,000     |  |
|    | 減価償却累計額      1,859,000                          | 普通預金                                      2,420,000 |  |
|    | 機械装置                                  2,420,000 | 固定資産売却益                              2,000          |  |

**問題 13**

リース会計に関する次の記述のうち（①）から（⑦）に当てはまることばの組み合わせとして正しい選択肢の番号を一つ選びなさい。

ア．ファイナンス・リースとは、次に掲げる2つの要件をいずれも満たすリース取引をいう。

- a．リース取引に基づくリース期間の途中で当該契約を解除することができないリース取引またはこれに準ずるリース取引であること。（（①））
- b．リース物件からもたらされる経済的利益を実質的に借手が享受することができ、かつ、当該リース物件の使用にともなって生ずるコストを実質的に借手が負担することとなるリース取引であること。（（②））

イ．オペレーティング・リースとは、ファイナンス・リース以外のリース取引をいう。

ウ．ファイナンス・リースの2つの要件のうち、（②）については具体的には次に掲げる基準により判断する。

a．現在価値基準

解約不能のリース期間中のリース料の総額の割引現在価値が、見積現金購入価額のおおむね（③）であること。

b．経済的耐用年数基準

解約不能のリース期間が、当該リース物件の経済的耐用年数のおおむね（④）であること。

したがって、上記a．またはb．のいずれかに該当する場合には、ファイナンス・リースと判定される。

エ．ファイナンス・リースのうち、次の（イ）から（ハ）のいずれかに該当する場合には、リース物件の所有権が借手に移転すると認められる所有権移転ファイナンス・リースに該当する。

（イ）リース契約上、リース期間終了後またはリース期間の途中で、リース物件の所有権が借手に移転することとされているリース取引（（⑤））

（ロ）リース契約上、リース期間終了後またはリース期間の途中で、割安購入権が与えられており、その行使が確実に予想されるリース取引（（⑥））

（ハ）リース物件が借手の用途等に合わせて特別の仕様により製作または建設されたものであって、当該リース物件の返還後、貸手が第三者に再びリースまたは売却することが困難であるため、その使用可能期間を通じて借手によってのみ使用されることが明らかなリース取引（（⑦））

オ．所有権移転ファイナンス・リース以外のファイナンス・リースは、所有権移転外ファイナンス・リースに該当する。

- [語群] A. フル・ペイアウト B. ノン・キャンセラブル  
 C. 75%以上 D. 90%以上  
 E. 割安購入選択権付リース取引 F. 特別仕様物件  
 G. 譲渡条件付リース取引

【選択肢】

1. ①B ②A ③D ④C ⑤G ⑥F ⑦E  
 2. ①A ②B ③C ④D ⑤F ⑥E ⑦G  
 3. ①A ②B ③D ④C ⑤E ⑥G ⑦F  
 4. ①B ②A ③D ④C ⑤G ⑥E ⑦F  
 5. ①B ②A ③C ④D ⑤G ⑥E ⑦F

**問題 14** 農業法人に関する、次の取引における仕訳について、正しい勘定科目の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

1. 農産物の価格補填金として 300,000 円が普通預金口座に入金された。  
 (借) 普通預金 300,000 (貸) ( ① ) 300,000
2. 過年度減収分の補填として 400,000 円が普通預金口座に入金された。  
 (借) 普通預金 400,000 (貸) ( ② ) 400,000
3. 配合飼料安定基金の生産者負担金として、50,000 円を普通預金口座より支払った。  
 (借) ( ③ ) 50,000 (貸) 普通預金 50,000
4. 配合飼料安定基金から配合飼料の高騰にともない補填金 100,000 円が普通預金口座に入金された。  
 (借) 普通預金 100,000 (貸) ( ④ ) 100,000

(勘定科目)

ア 経営安定補填収入 イ 価格補填収入 ウ 飼料費 エ 共済掛金 オ 受取共済金

【選択肢】

1. ①オ ②イ ③ウ ④ウ  
 2. ①イ ②ア ③エ ④ウ  
 3. ①ア ②オ ③エ ④イ  
 4. ①イ ②ア ③エ ④オ  
 5. ①オ ②イ ③ウ ④オ

**問題 15**

次のA～Eの取引にかかる仕訳のうち、誤っているものが二つある。その誤っている記号の組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

A. 経営所得安定対策の交付金 1,500,000 円が普通預金口座に入金された。

(借) 普通預金 1,500,000 (貸) 国庫補助金収入 1,500,000

B. トラクターを取得するため 2,000,000 円の国庫補助金の交付を受け、普通預金口座に預け入れた。

(借) 普通預金 2,000,000 (貸) 国庫補助金収入 2,000,000

C. 積み立ててあった農業経営基盤強化準備金につき、トラクターを購入するため 1,000,000 円を取り崩した。

(借) 農業経営基盤強化準備金 1,000,000 (貸) 農業経営基盤強化準備金戻入 1,000,000

D. トラクターを 4,500,000 円で購入し、代金は普通預金口座から支払った。

(借) 機械装置 4,500,000 (貸) 普通預金 4,500,000

E. 取得したトラクターに関する国庫補助金及び取り崩した農業経営基盤強化準備金について、直接減額方式により圧縮記帳を行った。

(借) 農業経営基盤強化準備金 3,000,000 (貸) 機械装置 3,000,000

**【選択肢】**

1. A, B      2. B, C      3. C, D      4. A, E      5. D, E

**問題 16**

農事組合法人大原営農は、X8年6月25日の定時総会において、繰越利益剰余金を財源とした剰余金の配当等を次の通り決定し、利益準備金は定款で定める最低金額を積み立てることとした。

|             |             |
|-------------|-------------|
| 従事分量配当金     | 2,000,000 円 |
| 農業経営基盤強化準備金 | 1,500,000 円 |
| 利益準備金       | ? 円         |

下記の〔資料〕に基づき、農事組合法人大原営農が利益準備金として積み立てるべき金額として正しい番号を一つ選びなさい。

なお、農事組合法人大原営農は、定款において、出資総額の二分の一に相当する金額に達するまで、毎事業年度の剰余金の十分の一に相当する金額以上の金額を利益準備金として積み立てるものと定めている。

〔資料〕

貸借対照表（一部）

| 農事組合法人大原営農 |           | X8年3月31日（決算日）現在 |           | （単位：円） |
|------------|-----------|-----------------|-----------|--------|
| 仮払配当金      | 1,500,000 | 出 資 金           | 3,000,000 |        |
|            |           | 利益準備金           | 1,300,000 |        |
|            |           | 農業経営基盤強化準備金     | 500,000   |        |
|            |           | 繰越利益剰余金         | 5,500,000 |        |
|            |           | （うち当期純利益）       | 5,000,000 |        |

【選択肢】

1. 150,000 円
2. 200,000 円
3. 300,000 円
4. 350,000 円
5. 500,000 円



**問題 17**

次の資料に基づいて(1)税込方式、(2)税抜方式による仕訳を行い、損益勘定を完成させ(①)～(⑨)に当てはまる勘定科目または金額として正しい組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。  
なお、消費税率は8%で、今期の取引はこれ以外無いものとする。

1. 肥料を108,000円(税込)で掛けで購入した。

(1) 税込方式

(借) 肥料費 ( ① ) (貸) 買掛金 ( ① )

(2) 税抜方式

(借) 肥料費 ( ② ) (貸) 買掛金 108,000  
( ③ ) 8,000

2. 収穫した農産物を324,000円(税込)で掛けで売り上げた。

(1) 税込方式

(借) 売掛金 ( ④ ) (貸) 製品売上高 ( ④ )

(2) 税抜方式

(借) 売掛金 324,000 (貸) 製品売上高 ( ⑤ )  
( ⑥ ) 24,000

3. 決算において、消費税の納付額が16,000円と算出され、未払消費税等の計上仕訳を行った。

(1) 税込方式

(借) ( ⑦ ) 16,000 (貸) 未払消費税等 16,000

(2) 税抜方式

(借) ( ⑧ ) 24,000 (貸) ( ③ ) 8,000  
未払消費税等 16,000

4. 損益勘定

(1) 税込方式

| 損益勘定    |         |       |         |
|---------|---------|-------|---------|
| 肥料費     | 108,000 | 製品売上高 | 324,000 |
| ( ⑦ )   | 16,000  |       |         |
| 繰越利益剰余金 | ( ⑧ )   |       |         |

(2) 税抜方式

| 損益勘定    |         |       |         |
|---------|---------|-------|---------|
| 肥料費     | 100,000 | 製品売上高 | 300,000 |
| 繰越利益剰余金 | ( ⑨ )   |       |         |

[勘定科目・金額]

|           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ア 仮受消費税等  | イ 仮払消費税等  | ウ 租税公課    |           |
| エ 324,000 | オ 300,000 | カ 216,000 | キ 200,000 |
| ケ 100,000 | コ 24,000  | サ 16,000  | ク 108,000 |
|           |           | シ 8,000   |           |

【選択肢】

1. ①ク ②ケ ③イ ④エ ⑤オ ⑥ア ⑦ウ ⑧カ ⑨キ
2. ①ケ ②ケ ③ア ④オ ⑤オ ⑥ア ⑦イ ⑧キ ⑨キ
3. ①ク ②ク ③イ ④エ ⑤エ ⑥ア ⑦ウ ⑧キ ⑨キ
4. ①ク ②ケ ③イ ④エ ⑤オ ⑥ア ⑦ウ ⑧キ ⑨キ
5. ①ク ②ケ ③ア ④エ ⑤オ ⑥イ ⑦イ ⑧カ ⑨カ

**問題 18～25**

畜産業を営むY株式会社のX0年1月1日からX0年12月31日までの事業年度に関する、次の【資料1】及び【資料2】に基づいて、以下の設問に答えなさい。なお、原価計算制度は採用していない。

【資料1】決算整理前残高試算表

残 高 試 算 表

X0年12月31日

(単位:円)

|             |         |             |
|-------------|---------|-------------|
| 312,500     | 現金      |             |
| 38,485,444  | 普通預金    |             |
| 13,522,698  | 売掛金     |             |
| 1,875,550   | 原材料     |             |
| 30,259,475  | 仕掛品     |             |
| 2,986,588   | 仮払消費税等  |             |
| 12,822,000  | 建物      |             |
| 6,253,000   | 機械装置    |             |
| 1,233,875   | 器具備品    |             |
| 3,382,691   | 生物      |             |
| 151,200     | 株式交付費   |             |
|             | 買掛金     | 5,573,537   |
|             | 仮受金     | 1,000,000   |
|             | 仮受消費税等  | 4,360,425   |
|             | 長期借入金   | 19,589,000  |
|             | 資本金     | 8,000,000   |
|             | 繰越利益剰余金 | 67,618,184  |
|             | 製品売上高   | 52,380,000  |
| 625,886     | 種苗費     |             |
| 8,296,444   | 素畜費     |             |
| 3,589,632   | 肥料費     |             |
| 8,435,164   | 飼料費     |             |
| 6,958,823   | 賃金手当    |             |
| 7,200,000   | 賃借料     |             |
| 3,251,756   | 動力光熱費   |             |
| 5,400,000   | 役員報酬    |             |
| 4,409,526   | 販売手数料   |             |
|             | 受取利息    | 2,552       |
|             | 雑収入     | 1,500,000   |
| 571,446     | 支払利息    |             |
| 160,023,698 |         | 160,023,698 |

〔資料2〕 決算整理事項 (※本試験問題より一部訂正)

- (1) 原材料の期首棚卸高は、1,875,550 円であり、期末棚卸高は、1,683,778 円であった。
- (2) 仕掛品の期首棚卸高は、30,259,475 円であり、期末棚卸高は、33,093,282 円であった。
- (3) 当期において倉庫を取得するために受領した国庫補助金 1,000,000 円を仮受金に計上している。Y株式会社は、当該補助金を充当して、X0年4月に倉庫(建物A)を4,500,000円で購入し、直ちに事業の用に供した(購入価格で建物勘定へ計上済)。当該建物Aについて、直接減額方式により、圧縮記帳を行う。なお、建物Aの耐用年数は15年であり、定額法(償却率0.067)により減価償却費を計上する(記帳方法は直接法)。
- (4) 当期において新規に取得した固定資産は上記(3)の倉庫(建物A)のみである。
- (5) 当期において繁殖牛を売却した際に受取った代金1,500,000円を雑収入に計上している。繁殖牛の売却は毎期継続して行われているため、総額主義による会計処理方法へ修正を行う。なお、売却した繁殖牛に係る情報は以下の通りであり、当期において除却または売却した固定資産は当該繁殖牛のみである。

|                           |             |
|---------------------------|-------------|
| 期首時点における当該繁殖牛の帳簿価額        | 1,085,210 円 |
| 当該繁殖牛の売却時までの減価償却費相当額(未計上) | 195,000 円   |

- (6) 当期に計上すべき減価償却費は、以下の通りである(すべて製造に関する費用である)。

| 固定資産              | 当期償却額     |
|-------------------|-----------|
| 建物A(上記(4))        | (ア)       |
| 建物(建物A以外)         | 925,689 円 |
| 機械装置              | (イ)       |
| 器具備品              | 352,888 円 |
| 当期に売却した繁殖牛(上記(5)) | 195,000 円 |
| その他の繁殖牛           | 835,250 円 |
| 合計                | (推定)      |

機械装置の耐用年数は7年であり、定率法(償却率0.286)により減価償却費を計算し、直接法により計上する。

- (7) 株式交付費は、X0年7月1日に増資を行った際に発生したものであり、新株発行後の3年間にわたり月割償却を行うものとする。
- (8) 当期における消費税の年税額が1,373,800円と確定した。決算において確定消費税額を未払計上し、仮受消費税等から仮払消費税等を控除した金額と未払消費税額との差額は雑収入に計上する。
- (9) 決算において、法人税、住民税及び事業税の年税額が909,100円と確定した。

**問題 18** 上掲の〔資料2〕決算整理事項(6)の空欄(ア)と(イ)を計算し、下記の記述のうちから、正しい組合せとなる番号を一つ選びなさい。

**【選択肢】**

- |    |     |         |     |           |
|----|-----|---------|-----|-----------|
| 1. | (ア) | 301,500 | (イ) | 1,788,358 |
| 2. | (ア) | 226,125 | (イ) | 418,951   |
| 3. | (ア) | 226,125 | (イ) | 1,788,358 |
| 4. | (ア) | 175,875 | (イ) | 1,788,358 |
| 5. | (ア) | 175,875 | (イ) | 418,951   |

製造原価報告書

(単位:円)

|     |       |           |     |       |  |
|-----|-------|-----------|-----|-------|--|
| I   | 材 料 費 | 期首材料棚卸高   | ( ) |       |  |
|     |       | 種 苗 費     | ( ) |       |  |
|     |       | 素 畜 費     | ( ) |       |  |
|     |       | 肥 料 費     | ( ) |       |  |
|     |       | 飼 料 費     | ( ) |       |  |
|     |       | 計         | ( ) |       |  |
|     |       | 期末材料棚卸高   | ( ) | ( ウ ) |  |
| II  | 労 務 費 |           |     |       |  |
|     |       | 賃 金 手 当   |     | ( )   |  |
| III | 経 費   |           |     |       |  |
|     |       | 賃 借 料     | ( ) |       |  |
|     |       | 動 力 光 熱 費 | ( ) |       |  |
|     |       | 減 価 償 却 費 | ( ) | ( )   |  |
|     |       | 当期総製造費用   |     | ( )   |  |
|     |       | 期首仕掛品棚卸高  |     | ( )   |  |
|     |       | 計         |     | ( )   |  |
|     |       | 期末仕掛品棚卸高  |     | ( )   |  |
|     |       | 当期製品製造原価  |     | ( 工 ) |  |

**問題 19**

上掲の製造原価報告書の空欄 ( ウ ) と ( 工 ) を計算し、下記の記述のうちから、正しい組合せとなる番号を一つ選びなさい。

**【選択肢】**

- |    |     |            |     |            |
|----|-----|------------|-----|------------|
| 1. | (ウ) | 20,947,126 | (工) | 42,822,537 |
| 2. | (ウ) | 20,947,126 | (工) | 39,988,730 |
| 3. | (ウ) | 21,138,898 | (工) | 42,822,537 |
| 4. | (ウ) | 21,138,898 | (工) | 39,988,730 |
| 5. | (ウ) | 21,138,898 | (工) | 45,656,344 |

損益計算書

Y株式会社

自 X0 年 1 月 1 日 至 X0 年 12 月 31 日

(単位：円)

|     |             |     |     |
|-----|-------------|-----|-----|
| I   | 売上高         |     |     |
|     | 1. 製品売上高    | ( ) |     |
|     | 2. 生物売却収入   | ( ) | ( ) |
|     |             |     |     |
| II  | 売上原価        |     |     |
|     | 1. 当期製品製造原価 | ( ) |     |
|     | 2. (力)      | (キ) | ( ) |
|     |             |     |     |
|     | 売上総利益       |     | ( ) |
| III | 販売費及び一般管理費  |     |     |
|     | 1. 役員報酬     | ( ) |     |
|     | 2. 販売手数料    | ( ) | ( ) |
|     |             |     |     |
|     | 営業利益        |     | ( ) |
| IV  | 営業外収益       |     |     |
|     | 1. 受取利息     | ( ) |     |
|     | 2. 雑収入      | (ク) | ( ) |
|     |             |     |     |
| V   | 営業外費用       |     |     |
|     | 1. 支払利息     | ( ) |     |
|     | 2. (ケ)      | (コ) | ( ) |
|     |             |     |     |
|     | 経常利益        |     | ( ) |
| VI  | 特別利益        |     |     |
|     | 1. ( )      |     | ( ) |
| VII | 特別損失        |     |     |
|     | 1. ( )      |     | ( ) |
|     | 税引前当期純利益    |     | ( ) |
|     | 法人税等        |     | ( ) |
|     | 当期純利益       |     | (サ) |

**問題 20** 上掲の損益計算書の空欄（キ）を計算し、下記の記述のうちから、正しい組合せとなる番号を一つ選びなさい。

**【選択肢】**

- 1. (カ) 生物売却原価 (キ) 890,210
- 2. (カ) 生物製造原価 (キ) 890,210
- 3. (カ) 生物売却原価 (キ) 1,085,210
- 4. (カ) 生物製造原価 (キ) 1,085,210
- 5. (カ) 生物仕入原価 (キ) 1,085,210

**問題 21** 上掲の損益計算書の空欄（ク）と（コ）を計算し、下記の記述のうちから、正しい組合せとなる番号を一つ選びなさい。

**【選択肢】**

- 1. (ク) 37 (ケ) 株式交付費償却 (コ) 50,400
- 2. (ク) 1,373,837 (ケ) 株式交付費 (コ) 151,200
- 3. (ク) 37 (ケ) 株式交付費 (コ) 50,400
- 4. (ク) 1,373,837 (ケ) 株式交付費 (コ) 25,200
- 5. (ク) 37 (ケ) 株式交付費償却 (コ) 25,200

**問題 22** 上掲の損益計算書の空欄（サ）を計算し、正しい番号を一つ選びなさい。

**【選択肢】**

- 1. 928,354
- 2. 1,688,377
- 3. 2,597,477
- 4. 3,191,534
- 5. 13,001,060



**問題 23** 次掲の貸借対照表の空欄（シ）と（ス）を計算し、下記の記述のうちから、正しい組合せとなる番号を一つ選びなさい。

**【選択肢】**

- |    |     |            |     |           |
|----|-----|------------|-----|-----------|
| 1. | (シ) | 11,720,436 | (ス) | 2,352,441 |
| 2. | (シ) | 11,720,436 | (ス) | 1,462,231 |
| 3. | (シ) | 10,720,436 | (ス) | 1,462,231 |
| 4. | (シ) | 10,720,436 | (ス) | 2,297,481 |
| 5. | (シ) | 9,720,436  | (ス) | 1,462,231 |

**問題 24** 次掲の貸借対照表の空欄（セ）と（ソ）を計算し、下記の記述のうちから、正しい組合せとなる番号を一つ選びなさい。

**【選択肢】**

- |    |     |           |     |           |
|----|-----|-----------|-----|-----------|
| 1. | (セ) | 909,100   | (ソ) | 1,373,800 |
| 2. | (セ) | 1,000,000 | (ソ) | 1,373,800 |
| 3. | (セ) | 2,597,477 | (ソ) | 1,373,800 |
| 4. | (セ) | 909,100   | (ソ) | 1,373,837 |
| 5. | (セ) | 2,597,477 | (ソ) | 1,373,837 |

**問題 25** 次掲の貸借対照表の空欄（タ）を計算し、下記の記述のうちから、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

**【選択肢】**

1. 67,618,184
2. 68,618,184
3. 68,992,115
4. 69,306,561
5. 70,992,885

## 貸借対照表

Y 株式会社

X0 年 12 月 31 日

(単位：円)

| 資産の部      |     | 負債の部     |           |
|-----------|-----|----------|-----------|
| I 流動資産    |     | I 流動負債   |           |
| 現金預金      | ( ) | 買掛金      | ( )       |
| 売掛金       | ( ) | 未払法人税等   | (セ)       |
| 原材料       | ( ) | 未払消費税等   | (ソ)       |
| 仕掛品       | ( ) | 流動負債合計   | ( )       |
| 流動資産合計    | ( ) | II 固定負債  |           |
| II 固定資産   |     | 長期借入金    | ( )       |
| 1. 有形固定資産 |     | 固定負債合計   | ( )       |
| 建物        | (シ) | 負債合計     | ( )       |
| 機械装置      | ( ) | 純資産の部    |           |
| 器具備品      | ( ) | I 株主資本   |           |
| 生物        | (ス) | 資本金      | 8,000,000 |
| 有形固定資産合計  | ( ) | 利益剰余金    |           |
| 固定資産合計    | ( ) | その他利益剰余金 |           |
| III 繰延資産  |     | 繰越利益剰余金  | (タ)       |
| 株式交付費     | ( ) | 利益剰余金合計  | ( )       |
| 繰延資産合計    | ( ) | 純資産合計    | ( )       |
| 資産合計      | ( ) | 負債・純資産合計 | ( )       |